

令和6年度第5回愛荘町子ども・子育て会議 議事録

日時	令和7年3月17日（月） 10時00分～11時05分
場所	愛荘町役場本庁舎3階 第4会議室
出席者	烏野委員 豊満委員 中西委員 富田委員 福田委員 槇原委員 中村委員 国領委員 奥村委員 木村委員 事務局：子ども支援課 増居課長、森野課長補佐 教育委員会 陌間教育次長
欠席者	森委員 大辻委員 濱田委員 馬場委員 加藤委員
協議事項	(1) 愛荘町こども計画（案）のパブリックコメントの結果について (2) 愛荘町こども計画（案）の承認について
資料	・令和6年度第5回愛荘町子ども・子育て会議次第 ・令和6年度愛荘町子ども・子育て会議委員名簿 ・愛荘町子ども・子育て会議条例 ・愛荘町こども計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について ・愛荘町こども計画（案） ・愛荘町こども計画概要版（案） ・「愛荘町こども家庭センター」の開設について ・子ども・子育て会議委員の募集について
傍聴者	4名

<増居課長>

定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第5回愛荘町子ども・子育て会議を開催いたします。本日の司会進行を務めます子ども支援課課長の増居と申します。よろしくお願いたします。開会にあたり、愛荘町子ども・子育て会議の烏野会長からごあいさついただきたいと思います。よろしくお願いたします。

<烏野会長>

皆さんおはようございます。あいにくの雨で急に寒くなってきていますが、2年間に渡って皆さんお疲れさまでした。今年度これが最後の会議ということで、パブリックコメントも含めて計画書の承認までいきたいと思っております。皆さん2年間ありがとうございました。もう一息なのでよろしくお願いたします。

#### <事務局>

事前に送付させていただいております資料の確認をさせていただきたいと思います。次第、委員名簿、愛荘町子ども・子育て会議条例、愛荘町こども計画案に対するパブリックコメントの実施結果について、愛荘町こども計画（案）、愛荘町こども計画概要版（案）、ご意見シートとなります。当日資料として、愛荘町こども家庭センターの開設について、子ども・子育て会議委員の募集となりますが、もし不足等がございましたら事務局までお申し出いただきたいと思います。本日の欠席のご報告を承っておりますのが、森委員、馬場委員、大辻委員です。まだ連絡を承っていないのですが、濱田委員、加藤委員もご欠席となっております。子ども・子育て会議委員15名のうち10名の出席となっております、委員の半数以上のご出席をいただいております。愛荘町子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により本会議が成立することをご報告させていただきます。協議に入る前に、愛荘町附属機関等の会議の公開等に関する要綱に基づき、政策形成過程の透明性の向上と公正の確保を図るため、本子ども・子育て会議も公開することとなっております。つきましては、会議録署名人を委員の中からお願いすることになります。烏野会長と奥村委員にお願いしたいと思います。記録が作成できましたら、後日送付させていただきますので、ご確認及びご署名のほどお願いいたします。本日の会議も、本計画の策定等の支援をお願いいたしております（株）ジャパンインターナショナル総合研究所の伊藤様にもご同席いただいておりますのでご了承お願いいたします。これからの議事運営につきましては、子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により会長が議長となるとありますことから烏野会長に進行をお願いしたいと思います。烏野会長よろしく申し上げます。

#### <烏野会長>

委員の皆さんのお手元に次第があるかと思えます。本日の協議事項は2点あります。今回の会議は、年度末に実施しましたパブリックコメント結果や回答の最終確認と、そして県との協議事項を踏まえた変更事項や計画の承認も含めて考えております。2点目も、こども計画（案）についてもありますので事務局から説明していただきながら、議論をしていきたいと思っております。協議事項（1）愛荘町こども計画（案）のパブリックコメントの結果について事務局より説明をお願いします。

#### <事務局>

愛荘町こども計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について説明

<烏野会長>

委員の皆さんいかがですか。パブリックコメントということで4点意見が挙がっています。事務局から説明がありましたが、追加も含めて、パブリックコメント以外についても構いません。何かお気づきの点があればお願いします。

<奥村委員>

P46の「基本目標3 こども・若者が希望を持てる社会づくり」の主な取組の「1 未来を拓く愛荘16年教育の推進」の「①基礎的読解力を育成する取組の推進」について、なかなか会議に参加できておらず気づくのが遅くなり申し訳ございません。RS Tリーディングスキルテキスト（中学生）は、今年度5年間行い終了とします。また、基礎的読解力スキルアップ教材（小2～小6）も終了しているので、ここまですを削除していただき、新たに昨年度から取り組んでおります、よむYOMUワークシートを小5～小6が取り組んでいますので、「よむYOMUワークシート（小5～小6）」と変更していただけたらと思います。新聞記事等を問いにして、読解力育成のスキルアップを行っております。

<烏野会長>

よむYOMUワークシートは小5～小6だけということですか。

<奥村委員>

今年度、小5～中2までですが、学習の発達ラインといえますか、そこにぴったりと合ったのが小5～小6だったので、愛荘町では小5～小6を対象に実施しております。またその後の文章についてはそのままお願いしたいと思います。

<中村委員>

パブリックコメントの結果についてNo.1に用語説明一覧記載と書いてあったので、どうなのかと思って確認をすると、用語一覧で最後に記載されていることが多いですが、ページごとに説明の記載があったので、わかりやすいと思いました。

<烏野会長>

パブリックコメントの4点とP46の修正も含めてよろしいですか。また何かお気づきの点がございましたらお願いします。協議事項（2）こども計画（案）の承認について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

こども計画（案）の変更点、概要版等について説明

<烏野会長>

委員の皆さんいかがですか。計画（案）は初めて見るものではなく、これまでも論議してきました。委員の皆さんからもご意見をいただき、可能な限り反映させていただいたものです。若干の修正や数字の変更はありました。事務局から説明がありました。概要版は、おそらく町民の皆さんが見られるものだと思います。来月から新年度になりますので、6月以降には町民の皆さんのお手元には届くのではないかと思います。印刷のことも含めて、新年度の早いうちにお配りできるのではないかと思います。これまでの計画案について、皆さんのご意見で異議がなければ確定となります。これが最後の会議となります。委員から感想でも構いませんのでご意見をいただければと思います。いかがですか。今回の会議後にもメールやFAX等でご意見をということでお願いもしております。年度末、年度初めに出すとなると、あまり修正の時間がないものですから可能な限り、本日ご意見をいただければと思います。

<國領委員>

先ほど事務局から説明がありましたように、「こども」という言葉だけでも漢字やひらがなの違いも含めて、丁寧に示していただきました。前回の2期の時は、その対象が0歳～小学生で幅も狭かったと思います。今回からは成人が18歳になりましたので17歳までというところの定義や、それ以降の若者ということで範囲を広げて、本町が、こどもや若者、その家庭に対していかにどうサポートしていくのかということをも明記できたことが大変良かったと思っております。さらにテーマにつきましても、こどもも親も地域も育つという、今まで育てていこうという部分の中で、育ててきたこどもや地域が今度は輝こうと、さらにより良く展望をもって広げて深めていただきました。そういった大きな目標をもって計画を作り上げたということが大変良かったと思います。それに向けてのパブリックコメントも含めて、いろいろな課題があったかと思いますが、それも工夫してまとめていただいて良かったと思います。やはり町民皆さんは概要版を見られると思いますので、カラー刷りで大変見やすくまとめていただいていると思います。

<烏野会長>

委員の皆さんからそう言ってもらえると、2年間やってきて良かったと思ったりもします。皆さんいかがですか。本日は委員の皆さんから一言ずつご意見やご感想をいただきたいと思います。これまでの会議の中でも、皆さんとも共有してお話させていいただきましたが、この概要版でいうとP6に目標や指標が書かれています。我々が力を入れて作ったものというのが5年間の縛りがあります。ただ、何年後かの間に、前回から作った時から今回対象を増やしたような充実した部分も踏まえて、5年後に次に作らないといけないとなると、親子の定義から、同性婚でも子どもをもつことの裁判など、いろいろな時代の流れがあります。そういった意味で、我々が作ったものの目指すものは、一生頑張ろうと思いますが5年後に作り直す時には、また抜本的なことも含めて、論議してより豊かな愛荘町の発展に向けてといった展開が図られるのではないかと思います。5年の見直しではなくて、もう少し早めでも良いかもしれませんが、事務局のハードルを上げて仕方がないというところもありますが、5年とは言わず我々の意識的なところも変えていかなければいけないと思います。そうすると、皆さんからはご意見を一言ずついただくかと思っていますが、今までのところで言いますと、このこども計画（案）の承認についてということで、我々のこの会議として承認しても皆さんよろしいでしょうか。

→異議なし

<烏野会長>

ご異議がないようであれば、これを承認という形となります。また、事務局から説明のありました今回の計画について、再度お聞きしますが、承認するというご意見はございませんか。

→異議なし

<烏野会長>

本日の協議事項として2点ともこれで終了したいと思います。最後に、今回の計画について、この2年間皆さんが関わっていただいたことに本当に感謝したいと思います。また、委員の皆さんから、愛荘町を取り巻くこども計画を作る時に、いろいろなステークホルダーの方がいらっしゃいます。行政の方、保育園の代表の方、幼稚園の代表の方、その保護者の方、教育委員会の方、社会福祉協議会の方、いろいろな方が

協力していただきました。本日もご欠席の方もいらっしゃると思いますが、一言ずつお願いしたいと思います。

#### <豊満委員>

保育園も卒園式を終えましたが、5歳児を見ておられますと希望に燃えている子もいますし、将来これから小学校への進学に対して不安を感じているこどももいます。大人もこどもも含めて、将来への希望があれば明るい未来ですが、将来に希望を持ってないと暗いことになってくると思います。発展途上国の合計特殊出生率は2をはるかに超えています。イスラムだけは特別ですが、先進国と言われている国は、合計特殊出生率は2を割っています。韓国では0.7人ということが発表されたそうです。おそらく来年度は0.6くらいになるだろうと言われております。将来に対して希望が持てないということが、社会であっても、こどもであっても将来に希望が持てるということが大変大切なことではないかと思えます。

#### <中西委員>

愛荘町社会福祉協議会の中西です。社会福祉協議会で頑張っていきたいところは、こども計画（案）P52「3 こども・若者を見守り・支える地域づくり」の「②こども・若者の居場所づくり」ですが、愛荘町内の方が居場所づくりに励んでくださっている方がたくさんおられます。こども食堂も3月に1件増えることなり、小学生の集まる場所を今作ってくださっている方もおられます。そういったところを、我々、社会福祉協議会と行政が連携しながら、町民の方がすることを支えていければ、こういった地域づくりにも貢献できると思えます。

#### <富田委員>

放課後支援員の富田と申します。これからの時代のこどもたちを守っていくためには、大人が変わっていかないといけないと思っていました。こどもたちのためや愛荘町の発展のために、こういった計画をされていることは、この場に来ないと知ることはなかったので、参加させていただけたことはありがたく思っています。

#### <ジャパン総研>

2年間にわたり、アンケート調査から始め、計画策定のいろいろなご意見をいただきありがとうございます。当社は、全国でこどもに関する計画を今年度作っていますが、こども計画として若者を含めてというところはまだまだ少ないです。その中で愛

莊町では、今年度の計画に若者を含めて作ろうと進めて来られましたので、そのあたりの子どもや若者に対する思いがこもった計画になっていると思っております。当社としては、来年度以降も子ども計画を全国で作っていく予定ですので、こういった会議をしていろいろな意見があって作られたということで、愛荘町の事例を全国にも紹介していければと思っております。

#### <木村委員>

2年間にかけて皆さんの意見がたくさん反映されていただき作らせていただきました。事務局だけでなく、皆さんの意見が反映されたからより良い計画になったのではないかと思っております。愛荘町の課題を3つ出してもらっていますが、まずは出生数が合併後半数くらいに減っている中で、子どもを生み育てる環境づくりがとても大事になってきていると思っております。そして、生み育てる子育てを支援するのは、子どもも家族もそうではありますが、地域で支援していくことが上手にこの計画に書いていただいたことを感謝申し上げたいと思います。また教育を通じて希望を持ち、夢が語れる子どもたちや家族や地域を作っていきたいと思っております。今回、地域福祉計画と子ども計画、健康推進課では健康あいしょう21の健康増進計画、この3本を5年計画として同時に作らせていただきました。それぞれが連携しながら、計画ができたということがプラスであるかと思えます。子どもだけではなく障がいのある方、大人や高齢者もみんなが支え合い、夢が語れるまちを作っていきたいと計画を読みながら思っておりました。

#### <奥村委員>

教育委員会の奥村です。今年度の会議に十分出席できなかったことは申し訳ありませんでした。先ほども基本目標3のところ、子ども・若者が希望を持てる社会づくりということは非常に大事にしているところですので、一つだけでなく、周りの方や地域の方、いろいろな機関や学校など全てが連携してつながりながらしていかないと、目標が達成できないと改めて感じさせていただいた会議でした。また、先ほどもありましたように、子どもたちが将来に夢や希望をもつということを大切にしていきたいと改めて感じさせていただきました。

#### <國領委員>

幼稚園代表の国領です。私どもの幼稚園のこどもたちも先週の金曜日が卒園式で、のびのびと卒園していきました。園に携わりながら、ご家庭や地域の皆さんのパワーが本当に大きいと思っております。その力をいかに高めていくかによって、教育力がどこまで上がっていくのかということ、日々感じながら、また感謝しながら携わせていただいております。そういった点で、今回の計画は大変大きな展望を持ったものになってきました。ただ、ご家庭やこどもたちにおいても厳しい現状はありますが、今までから関係機関や行政に携わっていただいている皆様のご尽力によって、まとめていただき支援していただいくものが計画を出すことで、より固まっていき、そういったことを提案させていただけたかと嬉しく思っております。こども計画の概要版の「ふれ愛 ささえ愛 そだち愛」の下の「こどもが、親が、地域が輝く希望と笑顔いっぱいのまちづくり」の文字が少し小さいと思いましたが、P38のところは同じ文字の大きさになっているかと思っておりますので、できればP38のような形で大きく書いていただけると良いと思います。

#### <烏野会長>

おそらくバランスの問題かと思いますが事務局調整をお願いします。

#### <中村委員>

教育委員の中村です。私は第1期から参加させてもらっており、こどもの幸せのためにということですとずっと皆さんと考えてきました。世の中が変わり、政府の方針も変わっていく中で、それに合わせてこどもの幸せをどうつなげていくのかということが、大変なことであると思っております。この先も変わっていくと思っておりますが、その度に計画の方向性も変わってくるかと思っております。あまりいろいろと変わると私たちからすると、どうなのかと不安になるので変わってほしくないという思いと、でも自分の希望に沿った方向にいつてほしいという思いもあるので、そのあたりのバランスが難しいと思っておりますがこれからも考えていただきたいと思っております。個人的な話になりますが、私が愛荘町に来た時は長男が幼稚園に入る前でした。右も左もわからず知り合いもいないところからのスタートでしたが、検診などで知り合いもいないという話になった時に、愛荘町の方からサークルなどの参加を進めていただいたことで、そこから始まったような気がしています。町の職員の方との距離が近くて寄り添ってもらえるのが愛荘町の魅力であると思っております。それが概要版にも優しいピンク色が使われ

ていることや、そういった気持ちが伝わるのが良いことだと思って、優しい気持ちがずっと続いていければと思います。

<槇原委員>

公募委員の槇原です。2年間お世話になりました。何かできることはあるのかと思いつながら参加させていただきましたが、私がたくさんのことを学ばせていただいたような気がします。こどもやお母さん方、地域の中に入ることができて、感じることは、お母さん方は子育てに関して大変だということと、一般企業にお勤めの方も赤字で人手不足で大変であると思いました。今回の計画に基づき、これからの5年間歩まれると思いますが、こどもたちが未来に希望を持てる愛荘町になることを祈りながら、これからも地域に根差して愛荘町のために尽力していきたいと思います。

<福田委員>

公募委員の福田です。私は小学校の娘が3人おり、来年から一人中学生にお世話になります。悩みとしてはまだまだ尽きないだろうと思っています。学校での宿題などに毎日追われています。今年に関しましては漢字ドリルがなくなって、プリントで提出するようなスタイルに変わりました。今年だけなのか今年からなのかはわかりませんが、そういったところも私の小さい頃からだんだん変わってきています。私自身も気持ちを切り替えて、勉強の仕方などこどもに合わせていけないと感じています。放課後については、働いているご家庭も多くて遊びに行く場所がないことが、こどもたちも困っているようで、近所にお寺で勉強する場所ができたので、そちらを私の娘も利用しており結構たくさんこどもたちが行かれています。夏休みもお寺を開放していただいているので、そういうところに行っていると親も安心して働けるのでありがたいと感じています。私は生まれも育ちも愛知川なので、皆さんが考えていただいていたのだと経験させていただき勉強させていただきました。

<烏野会長>

皆さんの思いをお伺いさせていただきました。私も中村委員と同じで第1期の時から関わらせていただいております。その時にも言ったかもしれませんが、愛荘町は滋賀県の中でも、出生数、こどもの数が多い地域であるので稀なことだと思います。老人ホームをどうするのかといった市町村の計画に参加することが多かったのですが、これだけこどもが多くなって、園に通えない子もいて、つくし保育園を作らないといけないという前から関わってきました。隣の岐阜県の関ヶ原町の会議に参加した時

に、1年間の出生数がゼロでした。人口の生まれた人と亡くなっていく人では圧倒的に亡くなっている人が多いです。限界集落とまでは言わないですが、それに近いような状況です。初めに知名度だけはあるという話をしたのは、出生数がゼロとなると、これからどうするのかというところも含めて、その中でこども計画を立てられないわけです。そういう部分でいうと、愛荘町の皆さんの場合、先ほど熱い思いを聞かせていただき、2年間という任期があるのでお別れしないといけないところもありますがお疲れさまでした。そして、事務局からもまた次年度の公募という話もあるかと思います。今回参加された皆さんも、こども計画は5年間の縛りがありますが、きちんとこども計画が実行されているのか、契約が履行されているのかということ、次は温かい目で見守っていただきチェックしていただかないといけません。会議の時に話をしていたのにできていないのではないかと、もっと良いまちを作っていこうというような意見をどんどんと言っていたとお立場になるのではないかと思います。皆さんからの温かいお言葉をいただいたとおり、こういう会議に参加していないと、どのように町が動いていて、どういう計画があって、どういう方針で動いているのか、町民の方にはわからないところがあると思います。今回タイトルを変えたことに対しても、いろいろな論議の中で出しあった意見を思い出しながら懐かしいところです。

私からは、本当に2年間、皆さんからのご協力を得て、会議等に関しても滞りなく進めることができたのは皆さんのおかげであります。今後とも愛荘町こども計画がきちんと進めるように、今度は応援のお言葉でお願いしたいと思います。これで協議事項が終わりましたので、事務局へ議事進行をお返ししたいと思います。

#### <事務局>

皆さんの熱い思いを聞かせていただきました。今回策定させていただきました計画は5年間の計画となります。それが絵に描いた餅とならないように行政はもちろん、地域の皆さんと一緒に計画を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。また途中に大きな施策の変更や数値の変更がある場合は見直しをさせていただくこともありますので、その際はこの会議の中で報告させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日配布させていただいております「愛荘町こども家庭センター」の開設について少し説明させていただきます。

#### 「愛荘町こども家庭センター」の開設について説明

<事務局>

今年度の会議は今回が最終となります。私も昨年度担当として、皆様と一緒に令和5年度からともに会議に入らせていただきました。委員の皆様には、計画の策定年ということで昨年度から8回にわたりまして、熱心にご審議いただきまして本当に感謝しております。会長にもおっしゃっていただきましたように次年度早々に、計画の製本を予定しており、できあがりしました冊子は、委員の皆様にも後日お届けさせていただきたいと思いますのでご覧になっていただければと思います。次年度からは通常年なので年間2回程度の会議の中で、今回策定いただきました計画に基づいて進捗管理などをご審議をいただく予定となっております。机上に配布させていただいております資料は、4月に入りましたら公募委員の募集もさせていただきますのでお知りおきいただければと思います。本日は大辻副会長がご欠席でございますので、これで会議を終了させていただければと思います。本日はありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

(11時05分 閉会)